

「隣る人」 上映会@新宿 2017

山形国際ドキュメンタリー映画祭ニュー・ドックス・ジャパン部門招待作品
文部科学省選定／厚生労働省社会保障審議会特別推薦／
第9回文化庁映画賞文化記録映画部門大賞／第37回日本カトリック映画賞



親と暮らせない子どもたちと、隣りあう保育士たち。そして、子どもとふたたび暮らすことを願う親。ある児童養護施設の日常を追う8年間のドキュメンタリー。

埼

玉県加須市に「光の子どもの家」という児童養護施設があります。この施設には「家庭を失った子どもたちに必要なものは家庭に他ならない」という信念のもと、人生をかけて保育をしている保育士たちがいます。

こ

の映画は2011年の初上映から話題を呼び、低予算のドキュメンタリー映画でありながら有志による自主上映で異例のロングランを続けています。この映画は児童の人権に配慮しDVDになりません。

自分にとっての「隣る人」は誰なのか、自分は誰かの「隣る人」になれるのか。あらためて見つめ直すきっかけにしてください。この社会に暮らす人すべてに観ていただきたい作品です。

主催：NPO 法人スキルボート

後援：新宿区・新宿区教育委員会

助成：新宿区社会福祉協議会（赤い羽根共同募金、歳末・地域たすけあい募金）

2017年12月2日（土）14:00▷16:45（受付開始13:15）

落合第一地域センター 4F ホール（西武新宿線 下落合駅から徒歩約5分）

参加費：700円（一般） | 500円（学生および収入のない方）

お申し込み：ウェブまたはメールにて・詳しくは裏面をごらんください

<http://www.skill-boat.org/th> | skillboat.waseda@gmail.com

先着100名まで、未就学児および小学生低学年の入場は不可

「隣る人」企画・稲塚由美子氏を交えてのアフタートークあり

ボランティアによる託児あり：無料 | 3歳児以上の未就学児を先着10名まで | 裏面をごらんください

お問合せ：NPO 法人スキルボート・櫻井 | skillboat.waseda@gmail.com | 090-1408-4889

お申し込み：

ウェブの場合

▷ <http://www.skill-boat.org/th>



メールの場合

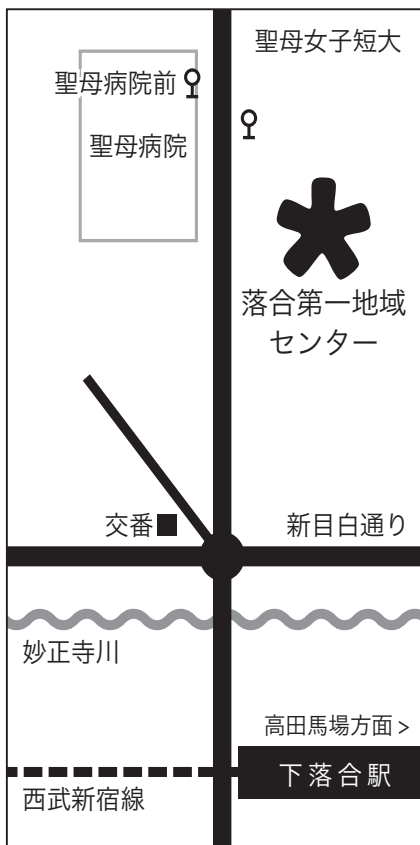
▷ skillboat.waseda@gmail.com



メールの場合、件名 (Subject) を「隣る人・参加申し込み」とし、本文に必ず①申し込みをされる方のお名前、②同行される方すべてのお名前、③参加人数の合計をご記入ください

託児については必ずウェブで説明をお読みの上、お申し込みください

▷ <http://www.skill-boat.org/th/#ny>



落合第一地域センター（新宿区下落合4丁目6番7号）
西武新宿線下落合駅から徒歩5分・駐車場がありませんので車での来館はご遠慮ください

過去の上映会のアンケートから：

子どもと関わる場にいるときに「自分は親ではないから」と引け目を感じることも、少し壁を作りかけてしまうことがありました。しかし、自分も「隣る人」として寄り添う一人になることができるのではないかと感じることができました。 [20代男性]

わかったような言葉を発してよいものなのか、感想を伝えるのにためらいを感じましたが、上映中はただずっと涙が流れていて止まりませんでした。素晴らしかったです。 [20代女性]

音楽もなく、演出もないこの作品は、映画でもドキュメンタリーでもない“まったく違うもの”でした。だからこそ、見ている人にストレートに語りかけ、伝わるものがあったと思います。 [40代男性]

家に帰ったら、子どもたちをしっかりと見つめ、抱きしめたいです。今あるふつうの生活があたりまえでなく幸せな時間なんだと実感し、胸がいっぱいです。 [40代女性]

家族や子育ての「あるべき論」を越えた「本質」がスクリーン一杯に映っていたと思います。何回でも観たい！ [20代男性]

今回で4回目です。毎回感じるものが違って、奥の深さを改めて感じました。 [30代女性]

子育て、家族の絆の大切さを教える貴重な映画だと思いました。“いのちを育む”教育を学べる時間を提供してくれて、とても感謝の思いを深くしました。 [60代女性]

人が生きていく上で、誰かと一緒に生きていくという共感を得る事がこんなに大切なものなのか、という事が心に刺さってきました。逆をいえば人間はもろい生き物だとも思いました。 [30代男性]

ナレーションやBGMのない作品ということもあって、その場にいるような気持ちで見ることができました。子どもの気持ちを受け止めることの大切さを感じました。アフタートークではいろいろなお話を聞くことができよかったです。 [10代女性]

本当の親がいても、家族の関係は難しくなっています。結局は心豊かな大人が周囲にいる事が一番大切な事だと感じました。心豊かな子どもが育っていける社会を願います。 [40代女性]

子どもが大きな悲しみや寂しさを抱え、持て余し葛藤しながら生きている生き様が、しなやかなカメラワークでとらえられ、良質なドキュメンタリーだなあと感じました。素敵です。 [50代女性]